

おもしろい もの

絵画、工芸、ガラスの装飾美

2025
4.5 sat
↓
6.15 sun

ウッドワン美術館

〒738-0301 広島県廿日市市吉和4278 TEL 0829-40-3001
<https://www.woodone-museum.jp>
アクセス/中国自動車道 吉和ICから車で2分

前売券は、ロンドン(コード61336)、チケットぴあ(コード687118)にて販売
主催「ウッドワン美術館 中国新聞社」
後援「広島県広島市教育委員会、廿日市市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、広島県立広島文化芸術センター、広島県立美術館」
広島エムティエム放送FMチャリティ6.6MHz、FMはワイワイ76.4MHz

開館時間 10時～17時(入館は16時30分まで) 休館日 毎週月曜日(ただし4/28、5/5は開館)
入館料 一般 1,400円(1,250円) 大学生 600円(500円) 65歳以上 1,200円 高校生以下の方は無料・障害者手帳をお持ちの方と同伴者1名様は無料
※()内は前売料金 ※有料入館者10人以上の団体割引あり ※学生・65歳以上の方は学生証または年齢の分かる身分証明書を提示ください ※65歳以上は前売り、当日券とも同じ料金 ※常設作品「マイセン磁器、幕末明治期の薩摩焼、ガラス作品」もご覧いただけます

村上松園
画

上村松園(美人図)部分 1910 明治43年頃



装飾性

絵画、工芸、ガラスの装飾美

日本美術の長い歴史に通底する美の特徴として「装飾性」が挙げられます。装飾とは、「装い」「飾る」という意味の漢字で構成され、<decoration>や<ornament>を翻訳するために幕末から明治期にかけて使われるようになった言葉です。日本美術の大きな特徴として、輪郭線で形を捉えたり、限られた数の色で彩色を施したり、また、背景を余白として残したりと、物の実相を写し取るというよりも、その姿を平面的に描き表している点が挙げられます。この表現方法は、陰影のついたヨーロッパの写実的な絵画と比べると、物の色や形が単純化されることで、理想的な美しさが追求され、その独特の画法が、「装飾的」と言われるゆえんとなっています。もちろん、装飾性は日本美術の特色というだけではありません。世界中どこでも、人々は衣服を装い、家をインテリアで飾ります。「装い、飾る」行為は、私たちの心を豊かにし、そしてその行為自体が、芸術の根本のひとつを成していると言えるのではないのでしょうか。

さて、本展覧会では、「装い」「飾る」ことに着目し、日本美術の装飾美を代表する円山応挙や竹内栖鳳、横山大観の日本画や、上村松園、鍋木清方、伊東深水らによる、美しい着物を身にまとった美人画、フランスで邸宅を飾る家具や花器を制作したエミール・ガレの作品、そして昨年新たに収蔵された葉山有樹の装飾性豊かな工芸作品など、ウッドワン美術館のコレクションを約90点展覧いたします。装い、飾ることを楽しんできた人々の営みに想いを馳せ、その豊かな実りをご堪能いただければ幸いです。



1



2



3



4



5



8



6

7

- 1.竹内栖鳳《朝陽》1938(昭和13)年
- 2.横山大観《霊峰不二》1950(昭和25)年
- 3.児島善三郎《ひまわり》1950(昭和25)年頃
- 4.エミール・ガレ《ボム・ド・テール文花瓶》1902年
- 5.北田克己《月点波心》1990(平成2)年
- 6.薩摩焼《瑠璃地金欄手開光人物文瓶》
- 7.オーギュスト・ルノワール《花かごとを持つ女》(婦人習作) 1895年
- 8.岸田劉生《村嬢愛菊園》1925(大正14)年

日帰り送迎プラン(食事付き)【要予約】 ※ご予約は1週間前まで

催行日 | 4.25(金)、5.16(金)、6.13(金)
 参加費 | 8,000円(税込)(ウッドワン美術館入館料、ギャラリートーク、昼食、喫茶、送迎)
 定員 | 各22名(最少催行人員15名) ※定員になり次第、受付を終了します
 出発時間 | JR 宮内串戸駅西口10:00 発 お帰りは美術館14:30 発
 ※バスご乗車の際にご相席となる場合がございます
 予約 | ウッドワン美術館まで TEL 0829-40-3001

ギャラリートーク 一学芸員による作品解説【予約不要】

日時 | 4.19(土)、5.17(土)
 時間 | 各日 14:00~ ※所要時間は40分程度
 参加費 | 無料(要入館券)

ワイワイがやがやデー

障害をお持ちの方や小さいお子様連れのご家族にゆっくり美術鑑賞を楽しんでいただく時間とさせていただきます。お声を出してもOKのご鑑賞デーです。
 日時 | 4.26(土)、5.24(土)、6.14(土) 各日 10:00~17:00

【ワークショップ】プラ板アクセサリーづくり

展覧会タイトル「よそおい、かざる」にちなみ、プラ板でアクセサリーを作ります。
 日時 | 4.26(土)・5.24(土) 各日11:00~15:00
 場所 | ウッドワン美術館 新館
 定員 | 各25名(予約不要・先着順)
 参加費 | 無料(要入館券)



【カフェ・マイセン】紅茶試飲会・紅茶教室

「和田企画」(紅茶の輸入販売)による紅茶試飲販売会・紅茶教室を開催します。

■紅茶試飲販売会
 日時 | 4.19(土)・20(日) 両日12:00~15:30
 場所 | カフェ・マイセン

■紅茶教室
 日時 | 4.19(土)・20(日) 両日14:00~15:00
 場所 | カフェ・マイセン
 定員 | 両日8名(要予約・先着順)
 参加費 | 無料
 申込み | ウッドワン美術館(0829-40-3001) 申込期間/4.1(火)~13(日)



「きもの割」のご案内

展覧会会期中に、和装でご来館された方は150円引きでご入館いただけます。

**次回の特別展
 一渡辺おさむスイーツアートを
 お菓子の美術館**

2025年
 6月21日(土)~9月7日(日)



渡辺おさむ《I'm thinking》

はつかいちアートレジナンス スタンプラリー開催

市内の美術館4館をめぐってプレゼントをもらおう!
 開催中~2025.8.31(日)
 詳しくはこちら <https://www.umam.jp/hatsukaichiartrresonance/>

交通案内

【お車でお越しの場合】
 中国自動車道・吉和I.Cから車で2分。

【公共交通機関】
 ○「石見交通高速バス広益線」[広島駅北口]発、[広島バスセンター]経由、[吉和SA]下車(広島駅より約90分)。ただし、吉和SAからの送迎が必要となるため、必ず3日前までにウッドワン美術館にご連絡ください。※完全予約制
 ○「広電バス佐伯線・津田行き」[JR宮内串戸駅]乗車~[さいき文化センター]下車(約40分)→「吉和さくらバス(吉和~津田)」に乗換え[さいき文化センター]乗車~[クヴェーレ吉和]下車(約50分)→下車後、徒歩1分。

ウッドワン美術館

〒738-0301 広島県廿日市市吉和4278 TEL | 0829-40-3001 <https://www.woodone-museum.jp>